

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 1966年東京天文台記念日の写真 (東京天文台100周年記念誌資料1-19-2)**

東京天文台100周年記念誌資料の整理をやっている。今回はアーカイブ室新聞第346号(2010年6月9日)の東京天文台100周年記念誌作成時の資料—その1—の

19) 写真ネガ 天文台記念式(1966年10月29日): 撮影者: 香西) 白黒36枚撮りと書かれた写真33枚の内、天文台記念式関係の16枚である。

アーカイブ新聞第884号(2015年12月3日)に「1966年一般公開の写真(東京天文台100周年記念誌資料1-19)」という記事を書いた。今回は、残りの当日午前中の東京天文台記念日の永年勤続者表彰の部の写真である。

ネガが当時、筆者たちがよく使っていたネガカバー(写真1)に入っていた。



写真1

ネガカバーに書いてあるが、この写真は1966年10月29日に撮影されたもので撮影者は香西氏である。10月29日が東京天文台記念日で、この日に永年勤続者表彰が行われるようになったことは第884号で書いた。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5

写真 1、2、3、4 は、挨拶をする当時の広瀬秀雄台長、写真 5 は、この年に 25 年の永年勤続表彰を受ける大沢清輝（おおさわ きよてる）、渋谷五郎（しぶたに ごろう）の両氏である。この表彰式では、渋谷さんは、「しぶや」ではなく、「しぶたに」さんだということが印象に残っている。写真 6 は、広瀬台長の挨拶と、それを聞く被表彰者 2 人である。写真 6 は広瀬台長の挨拶を聞く人たちで、顔が判別できる人は、左から広瀬台長、下村事務長、工藤庶務主任、長沢太陽物理部長、虎尾天文時部長、大沢恒星分類部長、古畑測光部長、小野実氏、渋谷五郎氏、深谷力之助氏、高倉天体電波部長（この当時は天体電波部と言っていたが、部門としては太陽電波であった）の各氏である。



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9

写真 7～9 は、永年勤続の表彰状を受ける大沢清輝氏である。



写真 10



写真 11



写真 12

写真 10～11 は、永年勤続の表彰状を受ける渋谷五郎氏である。写真 12 は表彰状を持つお 2 人である。

写真 13 は、永年勤続表彰を受けた 2 人に祝辞を述べる小野実氏と、祝辞に聞き入る面々

で、前方には虎尾、小野実、竹内、赤羽、清水一郎、高倉、森本、小平の各氏が見える。この当時から次年度に表彰される人が祝辞を述べる習慣であったから、小野さんは次年度の被表彰者であったろう。この習慣は、現在でも残っている。



写真 13



写真 14

写真 14 には、左から高倉、森本、小平、甲斐の諸氏の顔が見える。

写真 15、16 は永年勤続表彰者の記念写真であるが、この写真のようにみんなが揃うのは大変なのである。最後に決まった記念写真のネガは別に使われたようで、このネガカバーには入っていなかった。この記念写真は今から 49 年前のものでもはや物故者もたくさんいらっしゃる。

写真 16 の最前列の方々は、左から古畑、虎尾正久、広瀬、大沢、渋谷、長沢、佐藤友三、高倉、竹内の諸氏である。このような記念写真は 50 年もたてば貴重なものになる。



写真 15



写真 16

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp